

2. 分野別状況 (1) 国際戦略総合特区

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
関西イノベーション国際戦略総合特区 (京都府、大阪府、兵庫県、京都市、大阪市、神戸市)	4.5	4.8 進捗度 ・研究段階(入口)における効果 128% ・承認審査段階(中間)における効果 106% ・製品化・実用化(出口)における効果 124% 等	4.2 規制の特例等 ・スマートコミュニティオープンイノベーションセンター機能の整備 等 財政支援等 ・国際総合特区設備等投資促進税制 等 地域独自の取組 ・次世代地域産業推進事業 等	4.5	・スマートライフ、スマートエネルギー等を軸に、KICK等でのイノベーションプラットフォーム機能を活かした国際競争力強化への取組が評価される。継続して多くの規制特例や、財政・税制・金融支援を適用し、イノベーション創出を支える基盤づくりを着実に積み上げている。車載用蓄電池の導入推進にあわせて、PPA事業等も含めた市場拡大など、定置型蓄電池の戦略的な推進に期待したい。  ・設定された各目標に対して十分な成果が得られていると思う。